

図書館トークイベント 「中世写本の世界」

杉藤久志（経済学部准教授）

2019年7月4日（木）

午後4時30分～5時50分（途中退出自由）

図書館2階リフレッシュコーナー



印刷技術ができる前、本は一冊ずつ人の手で作られるカスタムメイド品であった。羊の皮で紙ができ、写字生がガチョウの羽ペンで文字を書き、イラストで飾られた。本という形式は、なぜこれほど古くから定着したのか。西洋にとって、本の存在は何を意味するのか。そして、その後の印刷技術や電子媒体によって、人間が得たもの、失ったものは何か。